

令和4年度

各教科の評価について

1 学年 / 2 学期

この冊子には、各教科の『観点別学習状況の評価（A・B・C）』の
評価対象や方法等についてまとめてあります。

★各観点の目標に対して

○十分満足できると判断されるもの → A
(達成率 80%以上の場合)

○概ね満足できると判断されるもの → B
(達成率 50%以上)

○努力を要すると判断されるもの → C
(達成率 50%未満)

★各教科3つの観点別学習状況の評価を総合して、
その教科の『評定（5・4・3・2・1）』が決まります。

令和4年9月

港区立高陵中学校

1年2学期

国語の評価について

教科担当

中西・大島

評価の観点

・今学期の目標・評価対象・評価方法など

● 知識・技能

- ・学習した内容をもとに、話し言葉と書き言葉の違いを理解できている。
- ・学習した漢字・語句について、正しく用いることができる。
- ・話し合いで新たに知った言葉を書き留め、適切な用例とともに記入できる。
- ・文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などの要旨を把握できる。
- ・複数の情報の比較や、共通点や類似点に基づいて類別することができる。
- ・引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、自身の文章へと生かすことができる。

【評価方法】

行動観察、発言・発表、ノート、ワークシート、作品、作文、定期考査

● 思考力・判断力・表現力等

- ・話し合う題材を決め、目的や場面、相手などを考えて、その題材に関する具体例、根拠などの話す材料を整理しながら話し合いの内容を検討することができる。
- ・実際の話し合いで相手の反応を踏まえて問いかけたり、発言を繰り返したり、グループディスカッションの展開を変えることができる。
- ・文章の構成や展開の効果について根拠を明確に、互いの発言を結び付けて考えをまとめることができる。

【評価方法】

行動観察、発言・発表、ノート、ワークシート、作品、作文、定期考査

● 主体的に学習に取り組む態度

- ・学習をふり返り、文章の特徴や表現に関して自身の考えや思いを広げたり深めようとしている。
- ・言葉を通じて積極的に人と関わったり、言葉が持つ価値に気付こうとするとともに適切に使おうとしている。
- ・練習を通して相手に伝わるような表現の工夫を考え、話し合いを円滑に進めるために協力しようとしている。
- ・習得した知識・技能を活用して、自身の文章における課題を見出し、課題を解決しようとしている。

【評価方法】

ノート、振り返りシート、文章の加筆修正、定期考査

【評価例】

学んだ知識及び技能を活用し、話し合いにおける表現や言葉の選択を振り返りシートの記述を基に評価する場合。

- A…「知識及び技能の活用方法について」、「より良い話し合いへとするための言葉の工夫」、「自分自身の発言内容の改善点」について記述しており、課題を解決する過程において、試行錯誤しながら、考えを深め、解決しようとしている。
- B…「どのようなグループディスカッションをしたいか」、「自身の発言の何が改善点なのか」について記述しており、課題を解決する過程において試行錯誤しようとしている。

1年2学期

社会科の評価について

評価の観点

・今学期の目標・評価対象・評価方法など

【地理】第2部 世界のさまざまな地域 第1章 人々の生活と環境・第2章 世界の諸地域

【歴史】第2章 古代までの日本

● 知識・技能

【地理】・世界各地の人々の多様な生活と環境について、気候や地形などの自然条件と衣食住や宗教などの社会的条件を関連づけて理解している。

・各州の地域的特色を自然環境、文化・歴史、民族の多様性、産業などの特色に着目して大観し、資料を用いながら各州の社会の多様性、経済、自然環境などの相互関係を理解するとともに、経済格差や環境破壊などの地球的課題についても調べ、まとめている。

【歴史】・世界の古代文明や宗教のおこりを基に、世界の各地で文明が築かれたことを理解している。

・日本列島における農耕の広まりと生活の変化や当時の人々の信仰、大和朝廷（大和政権）による統一の様子と東アジアとの関わりなどを基に、東アジアの文明の影響を受けながら我が国で国家が形成されていったことを理解している。

・律令国家の確立に至るまでの過程、摂関政治などを基に、東アジアの文物や制度を積極的に取り入れながら国家の仕組みが整えられ、その後、天皇や貴族による政治が展開したことを理解している。

・仏教の伝来とその影響、仮名文字の成立などを基に、国際的な要素を持った文化が栄え、それらを基礎としながら文化の国風化が進んだことを理解している。

【評価方法】定期考査、単元・小テスト、授業プリント、ICT利用ワーク、発言発表、行動観察

● 思考・判断・表現

【地理】・世界各地の人々の多様な生活と環境について、自然条件や社会的条件と関連づけ、写真や地図、主題図などを活用して多面的・多角的に考察している。

・各州の地域的特色や課題を、各州の人々の生活の様子、社会や経済の変化、各国・各地域の相互関係などを基に、多面的・多角的に考察し、表現している。

【歴史】・古代文明や宗教が起こった場所や環境、農耕の広まりや生産技術の発展、東アジアとの接触や交流と政治や文化の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、世界の古代文明や宗教のおこり、日本列島における国家形成、律令国家の形成、古代の文化と東アジアとの関わりについて、古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。

・古代までの日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。

【評価方法】定期考査、単元・小テスト、授業プリント、ICT利用ワーク、発言発表、行動観察

● 主体的に学習に取り組む態度

【地理】・世界各地の人々の多様な生活と環境に対して関心をもち、主体的に追及しようとしている。

・各州の自然環境、文化・歴史、民族の多様性、産業などに着目しながら、各州の地域的特色や地球的課題を主体的に追及しようとしている。

【歴史】・古代までの日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追及、解決しようとしている。

【評価方法】行動観察、発言発表、授業プリント、ICT利用ワーク、提出物（宿題等）、単元・小テスト

【評価例】 単元の学習の振り返り時の記述を基に評価する場合（ワークシート）

A・・・単元の学習を振り返り、学習した内容やそれに関連することの中からこれからも追究していきたいことを挙げるとともに、その意義を簡単に記述し、さらに妥当性のある根拠をもった具体的な解決策を提案したりするなど、質的な高まりや深まりをもとうとしている。

B・・・単元の学習を振り返り、学習した内容やそれに関連することの中からこれからも追究していきたいことを挙げるとともに、その意義を簡単に記述しようとしている。

1年2学期

数学科の評価について

教科担当

大久保・桑原・和田

評価の観点

・今学期の目標・評価対象・評価方法など

- 4章 数量の関係を調べて問題を解決しよう〔比例と反比例〕
 5章 平面図形の見方をひろげよう〔平面図形〕
 6章 立体の見方をひろげよう〔空間図形〕

● 知識・技能

- ・関数の意味を理解している。
- ・比例・反比例のグラフの特徴をもとに、グラフをかくことができる。
- ・比例や反比例の関係を式で表すことができる。
- ・垂線、垂直二等分線、角の二等分線を作図する方法を理解し、作図することができる。
- ・おうぎ形の弧の長さや面積が中心角に比例することをもとにして、おうぎ形の弧の長さや面積を求めることができる。
- ・直線と平面、平面と平面などの位置関係を指摘することができる。
- ・立体の体積の求め方を理解し、それらを求めることができる

【評価方法】

単元テスト、定期考査、行動観察、ワークシート

● 思考・判断・表現

- ・具体的な事象の中の数量の関係が比例や反比例であることを見だし、問題を解決することができる。
- ・おうぎ形の弧の長さや面積が中心角に比例することをもとにして、おうぎ形の弧の長さや面積を求める方法を考え、説明することができる。
- ・角柱や円柱、円錐の表面積の求め方を、展開図をもとにして考え、説明することができる。

【評価方法】

単元テスト、定期考査、行動観察、ワークシート

● 主体的に学習に取り組む態度

- ・問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。
- ・数学を活用して、問題解決に向けて積極的に取り組もうとしている。
- ・毎時間の授業に積極的に参加している。
- ・分からない問題に対し質問をしたり、話し合いをしたりすることで粘り強く考察し、解決しようとしている。
- ・ワークシートを工夫しながら書いている。
- ・課題などの提出物に粘り強く取り組み、分からない問題は繰り返し解くことで理解を深め、自らの学習を調整しようとしている。

【評価方法】

単元テスト、行動観察、ワークシート、振り返りシート

【評価例】

1つの問題に対するいくつかの解き方を比較し、自分なりの考察を加えて、残した記述をもとに評価する場合。(ワークシート)

A・・・複数の解決方法に対して自分なりの考察を加え、より良い方法を理由とともに記述しようとしている。

B・・・複数の解決方法があることを理解しようとしている。

1 年 2 学期

理科の評価について

評価の観点 ・ 今学期の目標 ・ 評価対象 ・ 評価方法など

● 知識・技能

- ・身のまわりの物質の性質や変化に着目しながら、身のまわりの物質とその性質についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。
- ・光や音、力のはたらきに関する事物・現象を日常生活や社会と関連づけながら、光の反射や屈折、凸レンズのはたらき、音の性質や力のはたらきについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。

【評価方法】

小テスト、レポート、パフォーマンステスト、定期考査など

● 思考・判断・表現

- ・物質のすがたについて、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、物質の性質やその変化における規則性を見だして表現しているなど、科学的に探究している。
- ・光や音、力のはたらきについて、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、光の反射や屈折、凸レンズのはたらき、音の性質や力のはたらきの規則性や関係性を見だして表現しているなど、科学的に探究している。

【評価方法】

小テスト、レポート、ワークシート、定期考査など

● 主体的に学習に取り組む態度

- ・物質のすがたに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
- ・光や音、力のはたらきに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

【評価方法】

振り返りカード、小テスト、レポート、ワークシート、行動観察、発言・発表、課題提出

【評価例】

物質のすがたに関する知識及び技能を活用して、謎の物質Xについてまとめたレポートの記述を基に評価する場合。

A…「どのような知識及び技能を活用したか」、「誰とどのような対話をしたか」、「何に気付いたか」について記述しており、課題を解決する過程において、試行錯誤しながら、解決しようとしていることがわかる。

B…「誰とどのような対話をしたか」、「何に気付いたか」について記述しており、課題を解決する過程において試行錯誤しようとしていることが分かる。

1年2学期

音楽科の評価について

評価の観点

・今学期の目標・評価対象・評価方法など

- 歌唱【浜辺の歌】◎ガイダンス ◎曲の構成を感じ取って、歌唱表現を工夫しよう
 鑑賞【エーデルワイス】
 鑑賞【魔王】◎詩の内容や曲想の変化を感じ取ろう
 【ジョーズのテーマ】◎イメージと音楽との関わりを感じ取ろう
 器楽【主人は冷たい土の中に】◎曲想を感じ取って、器楽表現を工夫しよう
 合唱【合唱コンクール課題曲】◎思いをこめて合唱しよう

● 知識・技能

- ・ 正しい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表すことができる。
- ・ 他者と合わせて演奏することができる。
- ・ 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。
- ・ 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表すことができる。

【評価方法】定期考査 行動記録 ipadによる記録 スクールタクト ワーク

● 思考・判断・表現

- ・ 音色、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ受することができる。
- ・ どのように工夫して歌うかの記述ができる。
- ・ 音楽の要素を生かして創意工夫し歌ったり、演奏したりすることができる。
- ・ 音色、旋律、テクスチュア、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ受し言葉で表すことができる。
- ・ リズム、旋律、強弱、形式を知覚し、それらをどのように生かして歌うかについて言葉で表現することができる。

【評価方法】定期考査 まなびポケット記入 ワーク iPadによる記録

● 主体的に学習に取り組む態度

- ・ 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
- ・ 曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽、鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

【評価方法】定期考査 行動観察 まなびポケット記入 iPadによる学習の成果の変化

【評価例】

○教科書・ワーク・楽譜・まなびポケット提出

A・・・工夫しようとしている（自分で調べたこと、友達の意見、色を使っている）

B・・・学んだことを書き込もうとしている。

○iPadによる学習の成果の記録

A・・・最初に録音したものと学習を深めた後の録音で変化をつけている。

B・・・最初に録音したものと学習を深めた後で変化はわからないが言葉で伝えようとしている。

1 年 2 学期 美術科の評価について

伊 藤

評価の観点 ・ 今学期の目標 ・ 評価対象 ・ 評価方法など

・ 知識・技能

- ・ ポスターによって意図が多くの人に伝わるように、効果的に表現する。
- ・ 構成や彩色の手順を考え、見通しを持って作業する。
- ・ 絵の具での彩色において、理想的な混色ときれいな色面の彩色をする。
- ・ 美の要素と形や色の効果を生かした計画的な作品構想に基づき、丁寧に表現する。
- ・ 作業手順を理解し、表現の工夫などを考え、計画に合わせて的確に作業を進める。
- ・ 形や彩色の美しさ、正確な混色の大切さを理解している。
- ・ 美術作品や表現に関することに関心を持って理解を深めている。
- ・ 自己の作品も客観的に判断し、参考作品から学んだことなどを生かしている。

・ 思考・判断・表現

- ・ わかりやすさや美しさを意識してポスターの構想を練る。
- ・ 彩色の手順などを考え、デザイン完成の見通しを持つ。
- ・ 色彩の分類の仕方を概念としてイメージする。
- ・ 多様な可能性（複数のアイデア）を考えて検討して単位形を決定し、基本色の関係を理解して色彩見本制作の構想を練っている。
- ・ 物の形から要素を見つけ、美の要素を意識的に活用し、構成を工夫する。
- ・ 感性や想像力を働かせて豊かに発想し、正確さや美しさを考えて創造的に色面構成の制作に取り組んでいる。
- ・ 作品の良い点を伝え合い、色彩表現などに生かそうとしている。
- ・ 作品の美しさやよさ、制作意図を感じとっている。
- ・ 美術文化や表現様式に対して、見方や感じ方を広げている。

・ 主体的に学習に取り組む態度

- ・ 創造活動の喜びを味わい、主体的に表現や鑑賞の学習に取り組もうとしている。
- ・ ポスター制作において、視覚を通して伝えることの楽しさに関心を持とうとしている。
- ・ 絵の具を使う楽しさを感じ、表現に取り入れようとしている。
- ・ 色彩について関心をもち、色彩の整理や効果について考え、表現に生かそうとしている。
- ・ 美の要素に関心を持ち、平面に色や形で美しさを考え、楽しんで表現しようとしている。
- ・ 授業や課題には積極的に取り組み、意欲的に作業をしたり発言しようとしている。
- ・ 作品の完成度を高めるために創意工夫をし、最後まで根気よく丁寧に制作しようとしている。
- ・ 美術の準備、後片付けができ、作業時間を有効に利用しようとしている。
- ・ 忘れ物をしない。提出物の提出期限を守ろうとしている。

今学期の主な評価対象

- ・ 授業への取り組み方
- ・ アイデアスケッチ
- ・ 作品
- ・ 期末考査

1年2学期

保健体育科の評価について

評価の観点 今学期の目標・評価対象・評価方法など

陸上競技（走り高跳び）・水泳・器械運動（跳び箱）
 球技（ソフトボール・バレーボール・バスケットボール）
 体育理論（運動やスポーツの多様性）・保健（調和のとれた生活）

● 知識・技能

○知識

- ・各種目の特性や成り立ち、技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。（陸上競技・水泳・器械運動・球技）
- ・運動やスポーツが多様であることについて理解している。（体育理論）
- ・健康は、主体と環境の相互作用の下に成り立っていること。また、疾病は、主体の要因と環境の要因が関わり合って発生することを理解している。（保健）
- ・健康の保持増進には、年齢、生活環境等に応じた運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を続ける必要があることを理解している。（保健）

○技能

- ・リズムカルな助走から力強く踏み切って大きな動作で跳ぶことができる。（走り高跳び）
- ・手と足の動き、呼吸のバランスをとり泳ぐことができる。（水泳）
- ・切り返し系や回転系の基本的な技を滑らかに行うこと、条件を変えた技や発展技を行うことができる。（跳び箱）
- ・基本的なバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と定位置での守備などによって攻防をすることができる。（ソフトボール）
- ・ボール操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。
（バレーボール）
- ・ボール操作と空間に走り込むなどの動きによってゴール前での攻防をすることができる。
（バスケットボール）

● 思考・判断・表現

- ・自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。（陸上競技・水泳・器械運動・球技）
- ・運動やスポーツが多様であることについて、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。（体育理論）
- ・健康な生活と疾病の予防について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断するとともに、それらを表現している。（保健）

● 主体的に学習に取り組む態度

- ・陸上競技、水泳、球技、器械運動、体育理論、保健の学習に積極的に取り組もうとしている。
- ・勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとしている。
- ・用具等の準備や後片付け、記録などの分担した役割を果たそうとしている。
- ・マナーを守ったり相手の健闘を認めたりして、フェアなプレイを守ろうとしている。
- ・作戦などについての話し合いに参加しようとしている。
- ・練習の補助をしたり仲間に助言したりして、仲間の学習を援助しようとしている。
- ・健康・安全に留意しようとしている。

【評価方法】 ・行動観察 ・学習カード ・実技テスト ・期末考査

【評価例】 用具等の準備や後片付け、記録などの分担した役割を果たそうとしている様子を観察して評価する場合。

A・・・用具等の準備や後片付け、記録などの分担した役割を常に果たそうとしている

B・・・用具等の準備や後片付け、記録などの分担した役割を果たそうとしている。

1年2学期

技術科の評価について

教科担当

末永

評価の観点

・今学期の目標・評価対象・評価方法など

- 材料と加工に関する技術
 - ・製図、木材の性質、実習
- 情報に関する技術
 - ・著作権・情報モラル

● 知識・技能

- ・のこぎりや玄翁を使用して木材加工することができる。
- ・材料の違いについて性質・特性の違いが理解できる。
- ・著作権・情報モラルについて理解できる。

【評価方法】

実習、定期考査、行動観察、ワークシート、作品

● 思考・判断・表現

- ・実習の際に手順などを考えて、より強度の高い作品や精密な作品を作ることができる。
- ・毎回の授業で学んだことをまとめ、表現することができる。

【評価方法】

定期考査、行動観察、ワークシート、作品

● 主体的に学習に取り組む態度

- ・実習の際に、自分の作業ペースを考えながら、毎回適切な目標を立てようとして、それを達成するために、粘り強く作業に取り組もうとしている。
- ・積極的に社会的な課題やSDGsなどについて考え、それを解決するためにはどのようなことができるかなどを考え、探求しようとしている。

【評価方法】

行動観察、ワークシート、定期テスト、作品

【評価例】

木工作品を設計し、作品づくりをする際の最初の目標設定と最後の振り返りで評価する場合。（ワークシート）

A・・・自分の作業ペースを考えながら、その日の目標を具体的に立てることができ、振り返りの際に達成・未達成にかかわらずなぜこの結果になったのか記入しようとしている。

B・・・その日の最初に目標を立てることができ、振り返りの際に、達成できたが未達成だったのか記入しようとしている。

1年2学期

家庭科の評価について

評価の観点

・今学期の目標・評価対象・評価方法など

2編 2章 生活を豊かにするために

● 知識・技能

- ・製作する物に適した材料や縫い方について理解している。
- ・用具を安全に取り扱い、製作が適切にできる。

【評価方法】

定期考査・行動観察・ワーク・作品・実技試験

● 思考・判断・表現

- ・資源や環境に配慮し、生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について、問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。

【評価方法】

定期考査・行動観察・ワーク・作品

● 主体的に学習に取り組む態度

- ・製作計画や製作について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

【評価方法】

行動観察・ワーク・振り返りシート

【評価例】

課題に対して自分で立てた計画や考えを振り返り、自分なりの考察を加えて残した記述をもとに評価をする場合。

- A...自分の計画や考えを振り返り、他の生徒のアドバイスなどを参考に、向上心を持ち自ら取り組むなど具体的な解決策を考え、実生活に生かそうとすることが伝わる記述や作品作りをすることができる。
- B...自分の計画や考えを振り返り、他の生徒のアドバイスなどがあることを理解することができる。

1年2学期

英語科の評価について

教科担当

石川・樫原

細野・小野

評価の観点

・今学期の目標・評価対象・評価方法など

- Unit 4 : 時刻や好きなものをたずねることができる。
 Unit 5 : 行った場所や、そこで楽しんだことなどを話すことができる。
 Unit 6 : 自分と相手以外の人やものなどについて、たずねたり伝えたりできる。
 Unit 7 : 自分と相手以外の人について話したり、どちらなのか、だれのものなのかをたずねられる。
 Unit 8 : 今していることについて説明したり、たずねたりできる。

● 知識・技能

- ・時刻や相手が好きなものについて、コミュニケーションを行う技能を身につけている。
- ・前置詞、like/enjoy ...ing, be good at ...ing, 動詞の過去形の用法を理解している。
- ・ものの場所や自分が好きなこと、体験したことをlike/enjoy ...ing, be good at ...ing, 動詞の過去形を用いてコミュニケーションを行う技能を身につけている。
- ・三人称単数現在形の文の形・意味・用法を理解し、家族や身近な人について伝え合う技能を身につけている。
- ・代名詞や疑問詞which, whoseを用いた文の形・意味・用法を理解し、話される内容を聞き取ったり、やりとりをする技能を身につけている。
- ・現在進行形を用いた文や感嘆文の形・意味・用法を理解し、今していることや感動や驚きの気持ちを伝え合ったりする技能を身につけている。

【評価方法】 定期考査、行動観察、ワークシート、スプリングコンテスト

● 思考・判断・表現

- ・ものの場所や好きなこと、体験したことなどについて、伝え合っている。
- ・友達などのことをほかの人に知らせるために、インタビューしたことを整理してスピーチをしたり紹介文を書いたりしている。
- ・人や文化、言葉や食べ物などについて知るために、情報を聞いたり読んだりして整理し、やり取りしたり書いたりしている。
- ・現在の状況を伝えるために、今していることや、感動や驚きの気持ちを伝え合ったり話したりしている。

【評価方法】 定期考査、行動観察、ワークシート、発表活動

● 主体的に学習に取り組む態度

- ・ものの場所や好きなこと、体験したことなどについて、簡単な語句や文を用いてコミュニケーションを行おうとしている。
- ・友達などのことを他の人に知ってもらうために、趣味などについてインタビューしてわかったことを整理して、スピーチをしたり紹介文を書いたりしようとしている。
- ・人や文化、言葉や食べ物などについて知るために、情報を聞いたり読んだりして整理し、簡単な語句や文を用いて、やり取りをしたり書いたりしようとしている。
- ・現在の状況を伝えるために、今していることや、感動や驚きの気持ちを伝え合おうとしている。
- ・毎時間の授業に積極的に参加している。
- ・学習の進め方について、自ら工夫し調整しようとしている。
- ・課題などの提出物に粘り強く取り組み、理解を深めようとしている。

【評価方法】 行動観察、ワークシート、発表活動、Joyful Work Book、「基礎の確認」ワークブック

【評価例】

英作文などの問題に取り組む際に、粘り強く問題に取り組む自分なりの答えを記述しているかを評価する場合。

- A・・・必要があれば辞書を活用し自分なりの答えを記述した後、答えを参照し8割以上正しく答え合わせしようとしている。
- B・・・多少解答に頼ることもあるが、自分なりの答えを記述した後、5割以上正しく答え合わせしようとしている。